

# 宮柊二記念館だより

2024.3.20

第60号

発行 宮柊二記念館

TEL・FAX

025-794-3800



2023年11月11日(土) 第29回宮柊二記念館全国短歌大会表彰式

## 「全国短歌大会」と 「短歌教室」と「短歌セミナー」

第二十九回宮柊二記念館全国短歌大会表彰式は、たくさんの方から参加いただき、コロナ禍以前に近い形で開催することができました。沖ななも先生と橘芳園先生、お二人の選者による入選歌の講評など、表彰式の様子は魚沼市公式YouTubeチャンネルで公開しています。宮柊二記念館ホームページよりご覧ください。また、入選作品等大会の詳細は次ページ以後を参照ください。

さて、前年度に続き、短歌大会選者の方から表彰式翌日に開催した宮柊二記念館短歌教室の歌会に参加いただき、お話を聞きすることができました。短歌教室は、橘芳園先生から添削指導をしていただいています。今年度は短歌大会の選者を橘先生にお願いしていましたので、橘先生には表彰式翌日の短歌教室歌会にも参加いただきました。

なお、一月の短歌セミナーでは、同じく橘芳園先生から「推敲のための十箇条ー短歌教室作品を例としてー」と題して講演いただきました。

令和六年度の企画展は、「宮柊二 言の葉の泉」展です。令和五年度一年間にわたって新潟日報第一面を飾っている宮柊二の歌と五名の執筆者による解説をご覧いただけます。新聞紙面で読まれていた方には、その時々のご感想とともに柊二の歌と再会していただきたいと思えます。紙面ではご覧になれなかった方には、この機会にぜひ一年分の歌と出会っていただきたいと思えます。それぞれの歌に関連する柊二自筆の資料などとともに展示を予定しています。

企画展は、六月十五日(土)からの予定です。翌十六日(日)には、講師に歌人の小島ゆかり先生をお招きして企画展開催記念講演会を計画しています。詳細は記念館にお問い合わせください。皆様のご来館をお待ちしております。

第二十九回宮柁二記念館全国短歌大会

応募総数 一一一, 三九一 首

【一般部門】

最優秀賞

選者賞（沖ななも選）

選者賞（橘芳園選）

魚沼市長賞

新潟日報社賞

幻と書く時いつも四画目空足踏んだような気がする

実相に観入するほど見えますと頬笑む妻にとまどう眼科医

残雪がひらがな風にやせ細り夏が近づくと越後三山

地を分けるフォッサマグナの東西を糸魚川の地懐に抱く

数Ⅲの追試の吾は数式の海にただよう一羽のかもめ

園部 淳

鈴木 鋭二  
愛知県刈谷市

磯部 剛  
新潟県魚沼市

相馬 啓子  
新潟県村上市

樋口 勉  
和歌山県海南市

【ジュニア部門（小学生の部）】

最優秀賞

選者賞（沖ななも選）

選者賞（橘芳園選）

魚沼市長賞

新潟日報社賞

かくれんぼやつと見つけてもらえたよみんなの中へかえってこれた

はっぱがね赤と黄色になったなら山がぬりえをはじめたんだよ

物語自分の世界入りこむみんなの声が聞こえなくなる

夕暮れの赤い光に重なったとんぼの羽と私の手

あつい日もゴミしゅうしゅうするお父さんきれいな町でみんながえがお

福岡 理

田村 和花  
新潟大学附属新潟小学校  
十日町市立中条小学校

眞島もえか  
魚沼市立堀之内小学校  
十日町市立中条小学校

村山 風華  
魚沼市立湯之谷小学校

櫻井 はる

【ジュニア部門（中学生の部）】

選者賞（沖ななも選）

選者賞（橘芳園選）

魚沼市長賞

新潟日報社賞

黒鳥よその黒きつばさをはばたかせたかぜ天空をかるしつぷうとなれ

図書館で勉強をした帰り道忘れられない青空のいろ

白球が高々上がり走り出すバットを投げて手を突き上げて

初めての大学体験行ってきた未来のぼくに思いをはせる

岡本 律輝

佐藤 明華  
新潟県立燕中等教育学校  
岩沼市立岩沼中学校

秋山 武喜  
慶應義塾普通部  
魚沼市立湯之谷中学校

桜井 奏太

【ジュニア部門（高校生の部）】

最優秀賞

選者賞（沖ななも選）

選者賞（橘芳園選）

魚沼市長賞

新潟日報社賞

魚影追うその一瞬を箒で突く命の重さ腕に伝わる

舞台裏手に「人」を書き飲みこんでトランペットを握り直した

一人ならできない事も友とならなんでもできそうChillierい朝焼け

地下一階集密書架のボタン押しモーゼの如く本の海行く

守られた秩序で生活する吾と文学読んで放浪する吾

秋元 慈央

角田 蘭  
新潟県立小出高等学校  
神奈川県立湘南台高等学校

瀬下 一太  
新潟県立小出高等学校  
東海高等学校

松井宏志郎  
大阪桐蔭高等学校

大本 茉弥

第29回短歌大会 応募状況

区分	応募作品数	応募者数
一般部門	934 首	414 人
ジュニア部門	11,457 首	6,122 人
小学生の部	1,355 首	938 人
中学生の部	4,213 首	2,222 人
高校生の部	5,889 首	2,962 人
総数	12,391 首	6,536 人

九月五日です。準備ができ次第、宮柁二記念館ホームページに実施要項・応募用紙を掲載いたしますので、ご活用ください。選者は、久々湊盈子先生（合歓）と鈴木竹志先生（コスモス短歌会）にお願いいたします。大勢の皆様に応募をお待ちしています。

第二十九回宮柁二記念館全国短歌大会は、沖ななも先生（熾）、橘芳園先生（コスモス短歌会）を選者にお迎えして実施しました。応募総数は、一般部門・ジュニア部門合わせて一一一, 三九一 首でした。感謝申し上げます。

令和五年十一月十一日に、宮柁二記念館に隣接する魚沼市堀之内体育館で表彰式を行いました。まだコロナ禍前には及びませんが、会場には二百五十名近い方々からおいでいただきました。大変ありがとうございました。

なお、表彰式の様子は、魚沼市公式YouTubeチャンネルにて配信しております。宮柁二記念館ホームページよりご覧ください。

※第二十八回大会（選者 大下一真先生・水上比呂美先生）・第二十七回大会（選者 川野里子先生・宮里信輝先生）についてもご覧いただけます。

さて、令和六年度・第三十回宮柁二記念館全国短歌大会は、五月一日から受付を始めます。締め切りは、一般部門七月三十一日、ジュニア部門九月五日です。準備ができ次第、宮柁二記念館ホームページに実施要項・応募用紙を掲載いたしますので、ご活用ください。

## 【選者のことば】

### 歌との出会い

橘 芳 園

今回たくさんの若い人達の作品を読む機会がありました。実は私が短歌を作り始めたのも小学校時代の詩の宿題がきっかけだったように思います。私は地図や統計書を見るのが好きで地理の教師になりました。教員になって二年目、夜間定時制高校の一年生の担任になりました。入学して二ヶ月目、まだ免許年齢に達していない十五歳の生徒が交通事故で亡くなりました。ベテラン教師であれば防ぐことが出来たのではないかと自問自答しながら未熟な自分を責める日々が続きました。そんな時、小学校時代に詩を作ったことを思い出したので、生徒のことを歌に詠もうと思った

ちました。地元新聞の歌壇の選者は宮先生でした。そして「コスモス」に入会しました。そうこうしているうちに、今度は住職の父が亡くなりました。信仰のない自分が寺役を務める矛盾に悩むことになりました。教師としての悩みと、思う事と現実との隔たりを埋め得ないまま村住職を務める悩みは、昏迷を深めるばかりでした。七十八歳のこれまでに何とか安定を保ってこれたのは、そういった自分をありのまま歌に詠むこと、その歌を理解し励ましてくれた師や家族、多くの友人の存在があったからだと思えます。

宮先生は『山西省』後記に『行為と智識の乖離に常に悩まねばならなかった』と誌されています。また、その後二十四年経て出された『藤棚の小室』の覚え書きには「『略』自分の選んだこの生活にも、別の戦場のごとき衝撃感、悲哀感、孤独感がこもるもにあつたからである。そして、それらをここで鎮めようと努めたのであった。」と作歌への姿勢を誌しておられます。これらの言葉は、歌を作り始めてから現在まで、私の作歌の指針になって、勇気を与え続けてくれました。今回歌を出して下さったみなさん、いつか若い頃に歌を作ったことを思い出して下さい。そして宮先生二記念館を訪れて下さい。きっと私のように、宮先生との良い出会いがあると思えます。

### 橘 芳園 (たちばな よしくに)

1945年新潟県白根市生まれ。  
1968年県立高校社会科教諭。  
38年の在職中の21年間、宮先生作詞の校歌を生徒たちと歌う。  
1976年コスモス短歌会入会。  
1990年コスモス短歌会新潟支部報「河」編集長。  
1996年第42回「O先生賞」受賞。  
2000年第47回「コスモス賞」受賞。  
現在、「コスモス」選者。コスモス短歌会新潟支部代表。宮先生二記念館運営委員。



## 【選者のことば】

沖 な な も

令和もすでに五年になる。その間の大半はコロナ感染拡大で苦しんだ。閉塞的な三年間だった。まだ完全に不安が払拭されたわけではないが、ようやく少し明るい兆しが見え始めたタイミングでの短歌大会。

小学生、中学生、高校生の応募作品は数も多く、それだけに多彩でレベルも高い。小学生が中学生になり高校生になる頃にはさらに充実して行くことだろう。何か一つでも自分を表現する手段を持っていることは、生きていく上でも大事なことでないだろうか。今回は、ほとんどコロナの歌はなかった。すでに次の一步に踏み

はパソコンなどを使うことが多くなって字を書かなくなったから余計そう思う。顔認証のスマホは他人には開けられないはず、でも似ている姉妹では開いてしまう。完全とは言えないAI機器。火花があがっているその同じ空をミサイルが飛んでいる現実。それぞれが「今」を捉えている。この「今」という感覚こそ大切だ。

### 沖 ななも (おき ななも)

1945年茨城県古河市生まれ。  
加藤克巳主宰の「個性」入会。終刊後2004年「熾」を創刊、代表となる。現代歌人協会、日本文芸家協会、日本ペンクラブ会員、埼玉県歌人協会会長。歌集に『衣裳哲学』（現代歌人協会賞・埼玉文芸賞受賞）『機知の足首』『木鼠浄土』『ふたりごころ』『天の穴』『一粒』『三つ栗』『白湯』『日和』ほか。エッセイ集『樹木巡礼』『神の木民の木』『百人百樹』『季節の榮草』『明日へつなく言葉』。評論『森岡貞香の歌』『全円の歌人 大西民子論』。入門書『優雅に楽しむ短歌』『今から始める短歌入門』。詩集『花の影絵』など。





## 令和5年度事業① 令和5年度に実施した事業をご紹介します。

### 宮柁二記念館－施設見学・職場体験学習

#### 魚沼市立堀之内小学校3年生

魚沼市立堀之内小学校3年生41名が来館しました。6月28日に松組、7月13日に竹組、クラス単位での見学でした。堀之内小学校卒業式・自画像・結婚式などいろいろな写真で宮柁二の生涯をたどり、堀之内小学校の歌碑で短歌について学習したのち、展示資料を見てまわりました。

#### 魚沼市立堀之内中学校2年生

7月6日、魚沼市立堀之内中学校の2年生2名が記念館で職場体験学習を行いました。朝は、建物内外の清掃や気温・湿度の計測などの開館準備。午前中は、宮柁二を紹介するVTRの視聴、展示品の鑑賞、前庭の歌碑や研究室などの見学。午後からは短歌を作り、閉館作業をして1日を終わりました。

### はやしあゆみイラスト展



4月29日から6月29日まで、「はやしあゆみイラスト展」を開催しました。はやしさんは、「越後魚沼ほりのうち宮柁二マップ」や「柁二記念館オリジナル短歌手帳」の作者で、魚沼市在住のイラストレーターです。『魚沼市で暮らす日常と

思い出と空想』をテーマに、地域の生活風景を描いたイラストを展示しました。

### 皇大市「出張 宮柁二記念館」



「皇大市」は、魚沼市堀之内にある皇大神宮の参道で行われている朝市です。毎年5月から10月（8月除く）の第一日曜日に開催しています。旬の野菜や山菜、食べ物や飲み物、手作り雑貨などを販売し、同時に様々なイベントも開催しています。

その皇大市に「出張 宮柁二記念館」として参加しました。毎回新潟日報連載の「宮柁二 言の葉の泉」や宮柁二の年譜などを展示しました。

### 企画展開催記念講演会



6月3日、歌人で歌誌「コスモス」選者の桑原正紀先生を講師として「企画展開催記念講演会」を実施しました。演題は「宮柁二の継承」です。

「『感動』と『感心』」、「宮柁二の抒情と思索」、「宮柁二から学ぶべきもの、継承すべきもの」の3つの視点から宮柁二の短歌を解説いただきました。

講演会の模様をYouTube「新潟県魚沼市公式チャンネル」で公開しています。宮柁二記念館ホームページからご覧ください。

令和6年度は、6月16日(日)に開催予定です。

### 第28回宮柁二記念館全国短歌大会 ジュニア部門入賞者短冊展



7月1日から8月31日まで、第28回宮柁二記念館全国短歌大会ジュニア部門入賞者短冊展を開催しました。

小学生の部・中学生の部・高校生の中で最優秀賞・選者賞・魚沼市長賞・新潟日報社賞・宮柁二記念館長賞に輝いた作品を受賞者自筆の短冊で鑑賞していただきました。第29回大会に向けた作品づくりの参考にしていただくため、小・中・高校生は入館無料としました。

令和6年度も同時期に第29回大会ジュニア部門短冊展を開催する予定です。

### 宮柁二講座



7月16日、歌人で「コスモス」選者の田宮朋子先生を講師にお迎えし、宮柁二講座を開催しました。演題は「柁二と戦争」です。

歌人宮柁二は、中国山西省で5年間一兵卒として過ごしました。講演会では、そうした経験に基づいて

詠まれた歌36首を解説いただきました。

講演会の模様をYouTube「新潟県魚沼市公式チャンネル」で公開しています。宮柁二記念館ホームページからご覧ください。

令和6年度は、7月14日(日)に開催予定です。

### 短歌教室－小出高等学校



7月19日、新潟県立小出高等学校3年生を対象に短歌教室を開催しました。講師は、歌人の田宮朋子先生、コスモス魚沼勉強会の内山真由美さん、眞島陽子さんです。生徒は、講師の指導を受けながら短歌を詠みました。

授業は、宮柁二の短歌「夢に立つ山紫水明雪しろき八海山と清き魚野川」の朗読から始まりました。小出高校は魚野川河畔に立ち、窓からは八海山が望めます。生徒は心を込めて朗読していました。

## 令和5年度事業② 令和5年度に実施した事業をご紹介します。

### 宮柁二記念館－施設見学

#### 魚沼市新任教職員フィールドワーク

魚沼市教育センターでは、魚沼市に初めて勤務する教職員に地域を知ってもらうため「魚沼市内フィールドワーク」を実施しています。8月8日、フィールドワーク参加の教職員33名に来館いただきました。

宮柁二の生涯をまとめたDVD「短歌はわが生の照明」を視聴し、宮柁二記念館が実施している短歌教室や短歌大会など市内の学校が参加している事業の説明を受けました。その後、企画展・常設展を鑑賞しました。

#### 堀之内コミュニティ協議会

11月3日、堀之内コミュニティ協議会の運営委員など10名が来館しました。宮柁二記念館作成の「越後魚沼ほりのうち宮柁二マップ」を使った町内巡検のスタート地点として宮柁二記念館見学を計画したとのことです。地元出身の方も多く、写真パネルを使って宮柁二の生涯を説明した際には、昔の風景写真などを楽しんでいただきました。

### 短歌教室－堀之内小学校



8月29日、魚沼市立堀之内小学校4年生・5年生・6年生を対象に短歌教室を開催しました。講師は、コスモス魚沼勉強会の皆さんです。

各学級とも5名程度のグループに分かれ、各グループを1名の講師が担当します。児童は講師と相談しながら短歌を作りました。初めての短歌教室となる4年生は、音数の数え方の学習から始めました。

### 宮芳平デッサン展



9月1日から10月30日まで「宮芳平デッサン展」を開催しました。

宮芳平(1893～1971)は、宮柁二の叔父です。旧制柏崎中学卒業後、東京美術学校西洋画科で学びました。長野県諏訪で美術教師となり、生徒を指導しながら風景や家族の肖像などを描き続けました。森鷗外の短編小説「天龍(てんちよう)」

のモデルになった画家です。

令和6年度も同時期に展示を予定しています。

### 第29回宮柁二記念館全国短歌大会 選者入賞者 色紙短冊展



11月11日から1月21日まで、第29回宮柁二記念館全国短歌大会選者入賞者色紙短冊展を開催しました。

選者の沖ななも先生、橘芳罔先生からはご自身の歌を色紙に揮毫いただきました。一般部門とジュニア部門の特別賞入賞者からは、各自の入賞歌をそれぞれ色紙と短冊に書いていただきました。秀逸と佳作の作品も紹介しました。

令和6年度も同時期に第30回大会の色紙・短冊展を開催する予定です。

### 宮柁二デスマスク展示



12月11日の宮柁二命日にあわせてデスマスクを展示しました。12月5日から12月17日まで、宮柁二が書齋で使用していた机や眼鏡、鉛筆など愛用の品々を展示している第2展示室の展示室全体が見渡せる場所に展示しました。毎年訪れてくださる方々に今年もお会いできました。

今年も宮柁二の命日はさんと前後1週間程度展示を予定しています。

### 短歌セミナー（講演会）



1月21日、歌人で「コスモス」選者の橘芳罔先生を講師にお迎えし、短歌セミナーを開催しました。演題は、「推敲のための十箇条－短歌教室作品を例として－」です。宮柁二記念館短

歌教室の作品を例にあげながら、作品を作る際に必要な視点を十項目で解説いただきました。一方、条件を外れていても素晴らしい作品は多々あることを宮柁二の作品からご紹介いただき、歌会に参加し、楽しんで作歌することの大切さを語って下さいました。

令和6年度は、1月19日(日)に開催予定です。

### 瀧澤さくら写真展



1月23日から3月16日まで、瀧澤さくら写真展を開催しました。

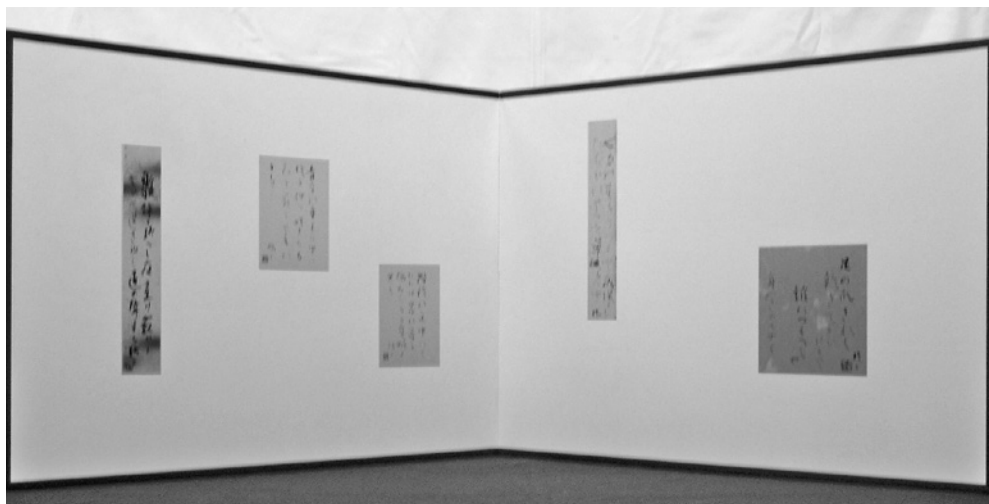
瀧澤さんは、高校生のころから地元堀之内の商店街をSNSで紹介する活動に取り組んでいます。

現在は堀之内商店街などを盛り上げる有志プロジェクト「サクラクレール」を展開し、活動しています。

瀧澤さんには、宮柁二記念館ホームページの写真やPR動画もお願いしています。今年度が初めての企画ですが、多くの皆さんからご覧いただきました。

# 宮柁二記念館収蔵資料紹介 No.60

宮家から新たにたくさん資料を寄託いただきました。  
その中から59号で紹介した「コスモス短歌会結成記念歌会芳名簿」に続いて屏風を二  
紹介します。



足の爪されば  
乾きとびけりと  
誰につぐべしや  
身のさかりすぐ  
七夕の星をうつすと水張りし  
たらひひとつを草むらの中  
階段の途中にて  
われは窓に寄る  
鷗みだるる空脆く  
見え  
青空の重みの中に  
枝を伸べ咲きたる  
花を厳しとお  
もふ  
雛飾り終へし夜の更け霞かと  
言ひて過ぎゆく道の聲する

## 宮柁二記念館紹介動画公開のお知らせ

宮柁二記念館を紹介する動画を作成しました。第一展示室「企画展「繋がるコスモスの歌」展」、第二展示室「常設展「なごも」展」の動画を公開いたします。ユーチューブ「新潟県魚沼市公式チャンネル」で公開しております。宮柁二記念館ホームページからご覧ください。

## 「宮柁二記念館短歌教室」のお知らせ

「宮柁二記念館短歌教室」を開催いたします。講師は「コスモス」選者橋芳園先生です。四月・八月・十二月を除く年九回、原則として毎月第二日曜日に開催します。年度途中からの参加、添削のみの参加も歓迎します。

年会費は3,000円です。詳細は、宮柁二記念館にお問い合わせください。

## 「宮柁二記念館友の会」のお知らせ

宮柁二記念館の活動支援と会員相互の交流を目的とする「宮柁二記念館友の会」の会員を募集しています。会員は、宮柁二記念館への入館料が免除されます。また、記念館日より等が届けられます。また、年会費は1,000円です。詳細は、宮柁二記念館にお問い合わせください。

## 「新潟日報」連載終了のお知らせ

令和五年四月一日より新潟日報に連載されている「宮柁二 言の葉の泉」が三月末で終了します。宮柁二記念館では、令和六年度企画展で本連載を取り上げ、一年間毎日一首ずつ紹介された柁二の歌とコスモス短歌会の歌人による解説を紹介する予定です。多くの皆さんからご来館いただきましたことと思います。

宮柁二記念館だより 第60号

発行 2024. 3. 20

問合せ 宮柁二記念館 (〒949-7413 新潟県魚沼市堀之内117-6) TEL・FAX 025-794-3800

メール miya-museum@city.uonuma.lg.jp ホームページ <https://www.city.uonuma.lg.jp/site/miyashuji/>